

2024年6月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2024年8月14日

上場会社名 パスロジ株式会社 上場取引所 東
コード番号 4426 URL https://www.passlogy.com/
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小川 秀治
問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 黛 慎一 TEL 03 (5283) 2263
定時株主総会開催予定日 2024年9月27日 配当支払開始予定日 2024年9月30日
発行者情報提出予定日 2024年9月30日
決算補足説明資料作成の有無: 無
決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年6月期の業績(2023年7月1日~2024年6月30日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年6月期	358	1.0	3	△92.2	19	△67.5	62	8.5
2023年6月期	354	△13.1	46	△36.8	58	△32.0	57	△25.1

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年6月期	31.23	—	12.4	2.5	1.0
2023年6月期	28.77	—	13.4	8.4	13.2

(参考) 持分法投資損益 2024年6月期 一百万円 2023年6月期 一百万円

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益は、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年6月期	819	547	66.8	273.85
2023年6月期	723	462	63.9	231.12

(参考) 自己資本 2024年6月期 547百万円 2023年6月期 462百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年6月期	17	24	△38	65
2023年6月期	113	△82	△49	62

2. 配当の状況

	年間配当金			配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	中間期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年6月期	0.00	14.00	14.00	27	48.7	6.5
2024年6月期	0.00	15.00	15.00	29	48.0	5.9
2025年6月期(予想)	—	—	—	—	—	—

(注) 現時点において、2025年6月期の配当金は未定です。

3. 2025年6月期の業績予想(2024年7月1日~2025年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	386	7.7	△12	—	3	△80.0	2	△96.0	1.26

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年6月期	2,000,000株	2023年6月期	2,000,000株
2024年6月期	1,800株	2023年6月期	600株
2024年6月期	1,999,290株	2023年6月期	1,999,400株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	7
(4) キャッシュ・フロー計算書	8
(5) 財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(持分法損益等)	9
(セグメント情報)	9
(1株当たり情報)	9
(重要な後発事象)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度(2023年7月1日から2024年6月30日)における国内経済は、新型コロナウイルス感染症対策が緩和された結果、経済活動の正常化が進み、景気を持ち直しの動きが見られました。しかしながら、不安定な国際情勢の長期化による資源価格の高騰や、円安・ドル高を基調とした為替変動による物価上昇、さらに、令和6年能登半島地震の影響により、景気の先行きには十分注意すべき状況です。

当社が属するITセキュリティ業界では、不安定な国際情勢が原因と考えられるサイバー攻撃が、政府機関や大企業だけでなく、地方自治体や医療機関、大企業のサプライチェーンである中小企業にも拡大しており、情報漏えいや「ランサムウェア(注1)」等の被害報告が続いております。このような状況に対処するために、各省庁や業界団体では、情報セキュリティに関するガイドラインを公開し、サイバー攻撃の起点となる「不正アクセス」への対策として「多要素認証(注2)」の導入を要請しています。その結果、認証セキュリティ製品の需要も喚起されております。

このような市場・経営環境の中で、当社の主力である法人向け認証セキュリティ製品「PassLogic(パスロジック)」は、業務システムやクラウドサービスへのリモートアクセスやWindows端末へのログインにおいて、「パスワードとデバイスを使わずに多要素認証を実現可能」という独自性を、エンドユーザーだけでなく、販売代理店やシステム構築事業者(SIer)に向けた広告宣伝活動及び販売促進活動を通じて訴求してまいりました。また、獲得した見込み顧客に対して積極的なアプローチを行うための、組織体制の構築やマーケティングシステムの導入を実施し、コミュニケーションの充実化を図りました。

これらの営業及びマーケティング活動の結果、新規顧客の獲得や、新規のサービス事業者への導入が進み、受注額の増加に貢献しました。しかし一方で、新型コロナウイルス感染症対策によって拡大したテレワーク需要が、対策の緩和により落ち着いたことから、既存顧客の契約ID数削減による受注額の減少も発生いたしました。

その結果、当事業年度の売上高は358,502千円(前事業年度比1.0%増)、営業利益は3,655千円(前事業年度比92.2%減)、経常利益は19,029千円(前事業年度比67.5%減)、当期純利益は62,428千円(前事業年度比8.5%増)となりました。

当社の事業セグメントは、自社製品開発事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(注1) ランサムウェアとは、企業や官公庁、自治体、病院等の業務システムに侵入し、情報資産を暗号化して利用不可能な状態にしたうえで、それを復元することと引き換えに金銭等を要求するソフトウェア、又はこういったソフトウェアを利用した攻撃のことをいいます。

(注2) 「知識」、「所有物」、「生体」の認証要素のうち、複数の認証要素を使って認証する方式です。1要素のみで認証するよりも不正アクセスが起りにくいとされております。

(2) 当期の財政状態の概況

(流動資産)

当事業年度末における流動資産の残高は246,518千円で、前事業年度末に比べ21,351千円増加しております。預け金の増加25,187千円、現金及び預金の増加2,930千円、売掛金の減少3,272千円が主な変動要因であります。

(固定資産)

当事業年度末における固定資産の残高は572,860千円で、前事業年度末に比べ74,844千円増加しております。投資有価証券の増加57,500千円、ソフトウェア仮勘定の増加18,319千円が主な変動要因であります。

(流動負債)

当事業年度末における流動負債の残高は166,839千円で、前事業年度末に比べ3,789千円増加しております。未払費用の増加4,694千円、未払法人税等の増加3,345千円、1年以内返済予定の長期借入金の増加1,906千円、前受収益の減少12,520千円が主な変動要因であります。

(固定負債)

当事業年度末における固定負債の残高は105,342千円で、前事業年度末に比べ7,301千円増加しております。繰延税金負債の増加26,197千円、長期借入金の減少12,389千円、長期前受収益の減少6,507千円が変動要因であります。

(純資産)

当事業年度末における純資産の残高は547,197千円で、前事業年度末に比べ85,104千円増加しております。その他有価証券評価差額金の増加50,863千円、繰越利益剰余金の増加34,437千円が主な変動要因であります。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末と比較して2,930千円増加し、65,464千円となりました。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は17,330千円（前事業年度比96,536千円減）となりました。これは主に、税引前当期純利益の計上86,467千円、投資有価証券売却損益の計上62,946千円、減価償却費の計上49,465千円、預け金の増加額25,187千円、法人税等の支払額21,392千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により得られた資金は24,270千円（前事業年度は82,195千円の支出）となりました。これは主に、投資有価証券の売却による収入215,609千円、投資有価証券の取得による支出132,402千円、無形固定資産の取得による支出70,185千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は38,670千円（前事業年度比10,754千円減）となりました。これは主に、配当金の支払額27,991千円、長期借入金の返済による支出10,483千円によるものであります。

（4）今後の見通し

不安定な国際情勢の長期化による原材料の供給不足や資源価格の高騰、各種通貨の為替レートの円安基調による変動等が続いており、企業の設備投資が削減され、当社の事業活動に影響を及ぼす可能性があります。

一方で、不正アクセスを起点としたランサムウェアや情報漏えい等の被害も未だに拡大傾向にあり、その対策として、多要素認証の導入の動きが拡大し、認証セキュリティ製品の需要が高まっております。この傾向は一定期間継続した後に、企業活動における認証セキュリティ製品の導入及び見直しは一般化すると認識しております。

当社の売上については、PassLogicの販売が引き続き中心になると考えております。しかしながら、認証セキュリティ製品需要の高まりを見込んだ競合製品が増加した結果、業界におけるPassLogicの存在感が相対的に低下していると認識しております。その対策として、2024年6月期には、広告宣伝活動の強化及び営業マーケティング体制の刷新を実施し、認知拡大に向けた活動を実施してまいりました。今後もPassLogicの独自性をアピールし、競合製品との差別化による認知拡大を進めてまいります。さらに、新たな営業施策の導入を計画しております。当施策により、販売代理店やSIerとのコミュニケーションの拡大及び深化を図ってまいります。また、PassLogic未導入の通信・クラウドサービス事業者に対しても積極的なアプローチを図り、サービスへの新規導入を狙います。

2025年6月期には、上記施策の実施に伴う人員採用活動、並びに営業施策実施のための予算として、販売費及び一般管理費の増額を予定しております。

ただし、これらの施策の効果が売上に反映される見通しについては、顧客による製品選定やシステム導入の期間を考慮し、2025年6月期においては限定的となり、2026年6月期以降に持ち越されることを想定しております。

これらのことから、2025年6月期の業績予想は、売上高386,153千円（前事業年度比7.7%増）、営業損失12,295千円（当事業年度は営業利益3,655千円）、経常利益3,808千円（前事業年度比80.0%減）、当期純利益2,513千円（前事業年度比96.0%減）を想定しております。

※上記業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、現在、日本国内において事業を展開していることなどから、当面は日本基準に基づいて財務諸表を作成する方針であります。なお、国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、今後の事業展開や国内外の動向などを踏まえた上で検討を進めていく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年6月30日)	当事業年度 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	62,534	65,464
売掛金	41,266	37,993
前払費用	8,272	10,098
預け金	104,957	130,145
その他	8,136	2,816
流動資産合計	225,167	246,518
固定資産		
有形固定資産		
建物	9,266	9,266
減価償却累計額	△1,552	△2,333
建物（純額）	7,713	6,933
構築物	815	815
減価償却累計額	△85	△140
構築物（純額）	729	674
工具器具備品	308	308
減価償却累計額	△154	△216
工具器具備品（純額）	154	92
土地	29,855	22,471
建設仮勘定	—	5,980
有形固定資産合計	38,453	36,151
無形固定資産		
ソフトウェア	81,176	83,577
ソフトウェア仮勘定	16,528	34,848
無形固定資産合計	97,704	118,425
投資その他の資産		
投資有価証券	345,243	402,743
差入保証金	15,739	13,690
長期前払費用	876	1,849
投資その他の資産合計	361,858	418,283
固定資産合計	498,016	572,860
資産合計	723,183	819,379

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年6月30日)	当事業年度 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	10,483	12,389
未払金	13,121	11,298
未払費用	28,296	32,990
未払法人税等	6,903	10,248
未払消費税等	3,592	4,778
前受収益	79,958	67,438
その他	20,695	27,695
流動負債合計	163,050	166,839
固定負債		
長期借入金	47,598	35,209
繰延税金負債	22,407	48,604
長期前受収益	28,035	21,528
固定負債合計	98,040	105,342
負債合計	261,091	272,181
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
利益剰余金		
利益準備金	25,000	25,000
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	273,325	307,762
利益剰余金合計	298,325	332,762
自己株式	△240	△435
株主資本合計	398,085	432,327
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	64,007	114,870
評価・換算差額等合計	64,007	114,870
純資産合計	462,092	547,197
負債純資産合計	723,183	819,379

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当事業年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
売上高	354,915	358,502
売上原価	105,743	110,849
売上総利益	249,171	247,653
販売費及び一般管理費	202,202	243,997
営業利益	46,969	3,655
営業外収益		
受取利息	16	38
受取配当金	11,983	16,498
その他	745	136
営業外収益合計	12,745	16,672
営業外費用		
支払利息	833	970
支払保証料	315	259
その他	53	68
営業外費用合計	1,202	1,298
経常利益	58,512	19,029
特別利益		
固定資産売却益	3,726	4,544
投資有価証券売却益	34,571	63,867
特別利益合計	38,297	68,412
特別損失		
投資有価証券売却損	10,992	921
減損損失	—	53
特別損失合計	10,992	974
税引前当期純利益	85,817	86,467
法人税、住民税及び事業税	25,761	24,738
法人税等調整額	2,529	△699
法人税等合計	28,291	24,038
当期純利益	57,526	62,428

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)

(単位: 千円)

	株主資本					評価・換算差額等			純資産合計
	資本金	利益剰余金			自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
		利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計					
当期首残高	100,000	23,195	255,591	278,787	△240	378,547	15,187	15,187	393,735
当期変動額									
剰余金の配当		1,804	△39,792	△37,988		△37,988			△37,988
当期純利益			57,526	57,526		57,526			57,526
自己株式の取得					—	—			—
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)							48,819	48,819	48,819
当期変動額合計	—	1,804	17,733	19,537	—	19,537	48,819	48,819	68,357
当期末残高	100,000	25,000	273,325	298,325	△240	398,085	64,007	64,007	462,092

当事業年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)

(単位: 千円)

	株主資本					評価・換算差額等			純資産合計
	資本金	利益剰余金			自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
		利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計					
当期首残高	100,000	25,000	273,325	298,325	△240	398,085	64,007	64,007	462,092
当期変動額									
剰余金の配当			△27,991	△27,991		△27,991			△27,991
当期純利益			62,428	62,428		62,428			62,428
自己株式の取得					△195	△195			△195
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)							50,863	50,863	50,863
当期変動額合計	—	—	34,437	34,437	△195	34,241	50,863	50,863	85,104
当期末残高	100,000	25,000	307,762	332,762	△435	432,327	114,870	114,870	547,197

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当事業年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	85,817	86,467
減価償却費	37,345	49,465
減損損失	—	53
受取利息及び受取配当金	△11,999	△16,536
支払利息	833	970
投資有価証券売却損益 (△は益)	△23,579	△62,946
固定資産売却損益 (△は益)	△3,726	△4,544
売上債権の増減額 (△は増加)	△9,216	3,272
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△1,441	1,185
未払費用の増減額 (△は減少)	△599	5,537
預け金の増減額 (△は増加)	73,670	△25,187
前受収益の増減額 (△は減少)	△2,032	△12,520
長期前受収益の増減額 (△は減少)	△11,799	△6,507
その他	7,764	4,421
小計	141,036	23,130
利息及び配当金の受取額	11,983	16,533
利息の支払額	△825	△941
法人税等の支払額	△38,327	△21,392
営業活動によるキャッシュ・フロー	113,867	17,330
投資活動によるキャッシュ・フロー		
短期貸付による支出	△6,000	—
短期貸付金の回収による収入	—	5,300
有形固定資産の取得による支出	—	△5,980
有形固定資産の売却による収入	9,635	11,929
無形固定資産の取得による支出	△62,201	△70,185
投資有価証券の取得による支出	△156,122	△132,402
投資有価証券の売却による収入	132,459	215,609
敷金・保証金の返還による収入	34	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△82,195	24,270
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△11,436	△10,483
自己株式の取得による支出	—	△195
配当金の支払額	△37,988	△27,991
財務活動によるキャッシュ・フロー	△49,424	△38,670
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△17,752	2,930
現金及び現金同等物の期首残高	80,286	62,534
現金及び現金同等物の期末残高	62,534	65,464

(5) 財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(持分法損益等)
当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

(セグメント情報)
当社の事業セグメントは、自社製品開発事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

前事業年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)		当事業年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)	
1株当たり純資産額	231円12銭	1株当たり純資産額	273円85銭
1株当たり当期純利益	28円77銭	1株当たり当期純利益	31円23銭
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません	

(注) 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2022年7月1日 至 2023年6月30日)	当事業年度 (自 2023年7月1日 至 2024年6月30日)
当期純利益(千円)	57,526	62,428
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	57,526	62,428
普通株式の期中平均株式数(株)	1,999,400	1,999,290

(重要な後発事象)
該当事項はありません。